

## 内子座とグローブ座に接点

21年度「気軽に文化講座in内子」

世界の文化やまちづくりについて学ぼうと、愛媛大学法文学部の協力で開催している「気軽に文化講座in内子」の21年度講座が、5月14日からスタートしました。

第1回講座では、井上彰<sup>あきら</sup>同学部准教授が内子座とイギリスのグローブ座を比較し、どちらも舞台と客席の距離が近く、劇場自体が宇宙空間の縮図を表しているなど多くの共通点を紹介。参加者からは「内子座でシェイクスピアを上演したい」などの感想が上がっていました。

同講座は、毎月1回開かれる予定です。



写真や映像などを交えながら、世界の興味深い文化を紹介

## 華やかに 演芸を披露

内子町文化協会 芸能発表会

内子町文化協会(源田幸生<sup>ゆきお</sup>会長)は内子地区と五十崎地区でそれぞれ芸能発表会を開催しました。

内子支部(中岡満義<sup>みつよし</sup>支部長)の発表会は5月17日に内子座で開かれ、16団体が出演。風情ある内子座の舞台上で、歌謡、舞踊、三味線、琴、落語、カラオケなどを披露しました。

五十崎支部(稲月功<sup>いさお</sup>支部長)の発表会は5月24日に共生館ホールで開かれ、20団体が出演。太鼓やダンスなどもあり、広い舞台をいっぱい使って元気に演技していました。

どちらも、さまざまな年齢層の皆さんが華やかな衣装で出演。会場には、写真を撮ろうとカメラを持った家族や友人などが大勢集まり、演技が終わるたびに盛大な拍手が送られていました。

④張りのあるバチの音色を響かせた「内子・ザ・三味線」  
⑤最後のポーズを決める内子ストリートダンスクラブ「HOP☆STAR」のメンバー



葉っぱを太陽の光に透かして、葉脈を観察

## 見て、触れて、学ぼう

天神小学校 特別授業

天神小学校(小泉明子<sup>あきこ</sup>校長)は5月19日、5年生28人を対象に、森林のはたらきを学ぶ特別授業を行いました。

同授業は、愛媛県総合教育センターが実施する「理科支援員等配置事業」の一環として開催。専門家などが講師を務め、実験や観察活動の充実を目指すもので、この日は愛媛県農林水産研究所林業研究センターの森信光<sup>のぶみつ</sup>センター長が森林についての授業を行いました。児童は同校裏の里山で木の幹に触れたり、土や葉を観察したりしながら、体験を通して興味深く学習していました。



## ガイドと一緒に町並み見学

町並みウォーキング

内子町町並みガイドの会(久保正憲<sup>まさのり</sup>会長・会員23人)は5月24日、町民を対象に内子座や八日市・護国伝統的建造物群保存地区を紹介して歩く「町並みウォーキング」を開催しました。

この催しは、近くに住んでいても、なかなかきちんと観光する機会がない町民の皆さんに、もっと町並みのことを知ってもらおうと、昨年度から実施しています。

案内役を務めたのは、ボランティアガイド歴2年の越智益子<sup>ますこ</sup>さん=内子11=。内子座や商いと暮らし博物館などの見所はもちろん、通りに並ぶ家々の玄関や窓、漆喰<sup>しっくい</sup>でつくった鏝<sup>こて</sup>絵と呼ばれる装飾など、内子の町並みの特徴を丁寧に説明して歩きました。

参加者は「きちんと案内してもらおうのは初めて。観光客の質問に答えられるように、勉強したい」と、熱心に説明に聞き入っていました。



大きな声で、分かりやすく説明する越智さん

## 自然色の草木染めを体験

内子町商工会女性部 3支部交流会

内子町商工会女性部(西岡千代<sup>ちよこ</sup>部長)は6月8日、小田地区で、内子・五十崎・小田の3支部交流会を開きました。

参加した47人は、工房夢ふうせん(正岡八千代<sup>やちよ</sup>グループ長)で、びわ・あかね・えんじゅ・くりなど植物の染料を使った草木染めを体験。綿や麻レーヨンの布を90度の染め液で20分間煮た後、ミョウバン液に浸し、再び20分間煮ると、自然な色合いのピンクや黄色などに染まります。参加者たちは、美しく染まったストールの出来栄えにとっても満足そうな様子でした。

そのほか、城の台公園や、県の天然記念物に指定されている広瀬神社のケヤキ、三島神社のイチョウの巨木などを見学。小田地区の自然の豊かさを感じながら、交流を深めていました。



かわいい園児からのプレゼントを笑顔で受け取る皆さん

## 交通事故や詐欺に気を付けてね

神南荘で交通安全・防犯教室

大洲警察署内子交番(宇都宮昭彦<sup>あきひこ</sup>所長)は6月10日、特別養護老人ホーム神南荘を訪問し、高齢者の交通安全・防犯教室を開きました。

警察では、毎月10日の高齢者交通安全の日に合わせて同教室を実施しています。内子町では、今年に入って6月までに24件の人身事故が発生しており、その半分は高齢者に関わるもの。中でも道路横断中の事故が多く、警察は信号を守ることや夜間は反射タスキを身に付けることなどを呼びかけました。また、五十崎幼稚園(稲田恵美<sup>しげみ</sup>園長)の園児25人も教室に参加し、入所者の皆さんに「車に気を付けてね」と手作りのキーホルダーと手すき和紙に書いた手紙を手渡しました。

続く防犯教室では振り込め詐欺について説明。「あやしい電話があったら家族や交番に相談してほしい」と訴えて、被害に遭わないよう注意を促していました。



⑥染め液から布を取り出してよくすすぎ、うれしそうに色合いを確かめる参加者たち ⑦広瀬神社のケヤキの木の大木に目を注ぐ